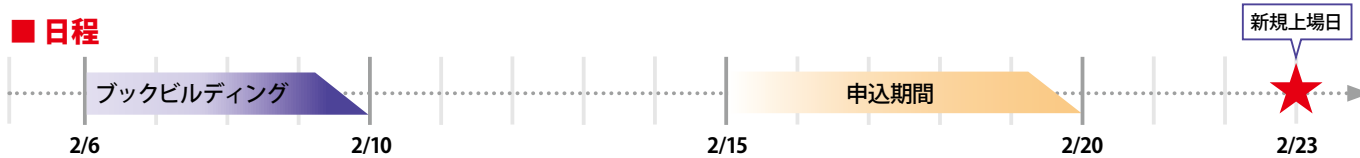


## IPO銘柄 フュージョン (3977・アンビシャス)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3977	100株	公募: 12.00万株 売出: 4.00万株 (OA0.00万株)	1,000円~1,140円 (21.1倍)	岡三証券



## ダイレクトマーケティングをワンストップで提供

### ■ 事業内容

ビッグデータ分析、マーケティングシステム提供、各種プロモーションの企画・制作・コンサルティングなどのダイレクトマーケティング事業を手掛ける。ダイレクトマーケティングはマーケティングリサーチ、マーケティングシステム、ダイレクトプロモーションの3サービスから成り立っており、マーケティングリサーチは、独自の簡易分析パッケージ「CRM ANALYZER」を用いて企業の売上構造、顧客、商品の状況を評価し、CRM（顧客関係管理）強化のきっかけとなる分析コンサルティングを提供。マーケティングシステムでは、マーケティングノウハウに基づいてシステムを構築し、最適なソフトウェア選定の提案をする。ダイレクトプロモーションではターゲットの選定から企画・立案、コンテンツ制作、実施および効果の検証まで、一貫したトータルソリューションを提供する。ダイレクトマーケティングの単一業態。

### ■ 特徴

顧客の持つビッグデータを分析し、それぞれの顧客に合致した商品やサービスのプロモーション実施を支援する。従来はダイレクトマーケティングを実施する際、コンサルティングファーム、システム会社など複数の企業に委託することが一般的だったが、同社はすべてのサービスを1社で提供できる点が強みとなっている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年2月期の非連結経常利益は前期比9.9%増の5,219万円を見込む。ダイレクトプロモーションは既存顧客からの大型DM案件などスポット案件を獲得しており、マーケティングリサーチ、プロモーションはともに堅調に推移している。

### ■ 定性分析

15年6月以来の札幌証券取引所アンビシャス上場案件となる。地方新興市場上場案件は、マザーズなどの審査をクリアできない企業が上場するという認識は既に後退。同社は北海道企業で地元への上場となる。ここ数年は問題企業の上場、大きな初値の下落はない。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は1.8億円程度。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給状況は非常に締まっている。地方新興市場上場銘柄であるため吸収金額は少ないが、市場参加者も通常のIPO銘柄と違って限られる点には注意が必要。(小泉健太)

### ■ 類似企業

フュージョン(3977・アンビシャス)	予想PER21.0倍 (仮条件上限)
メディアフラッグ (6067・マザーズ)	予想PER12.5倍
アйдマーケティングコミュニケーション (9466・マザーズ)	予想PER18.3倍

### ■ 引受証券

岡三証券、SBI証券、上光証券、SMBCフレンド証券、エイチ・エス証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年2月期(実績)	906	3.0	66	20.1	38	29.8	63.7	0.0
16年2月期(実績)	985	8.7	47	▲28.1	27	▲27.3	46.3	0.0
17年2月期(会社予想)	1,112	12.8	52	9.9	32	16.8	53.9	0.0

※ 16年8月に株式分割(1株→200株)を実施。15年2月期、および16年2月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年2月期	3,000	652	225	150	376.1	34.6	18.4
16年2月期	3,000	671	253	150	422.4	37.8	11.6

※ 15年2月期、および16年2月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	花井 秀勝	223,200	37.20
2	花井 優樹	109,000	18.17
3	プログレス	80,000	13.33
4	佐々木 卓也	65,800	10.97
5	花井 智子	40,000	6.67
6	サンクレエ	20,000	3.33
7	飯田 康人	12,000	2.00
7	花井 由香	12,000	2.00
9	安田 真	8,000	1.33
10	沖津 竜平	5,600	0.93

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	花井 秀勝
代表取締役社長	佐々木 卓也
専務取締役 管理部長	安田 真
取締役 営業部長	田辺 志保
取締役(非常勤)	川村 秀憲
常勤監査役	岡島 敬
監査役(非常勤)	吉田 周史
監査役(非常勤)	長谷川 正和

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。